

表2 平成20年9月28日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	7,326	639	7,965	979	1,303	2,282	8,305	1,942	10,247
	異性間の性的接触	1,781	519	2,300	322	757	1,079	2,103	1,276	3,379
	同性間の性的接触 ^{*1}	4,721	3	4,724	292	1	293	5,013	4	5,017
	静注薬物濫用	24	1	25	20	3	23	44	4	48
	母子感染	13	8	21	4	7	11	17	15	32
	その他 ^{*2}	143	31	174	34	20	54	177	51	228
	不明	644	77	721	307	515	822	951	592	1,543
エイズ患者	合計 ^{*3}	3,533	255	3,788	672	330	1,002	4,205	585	4,790
	異性間の性的接触	1,379	166	1,545	236	181	417	1,615	347	1,962
	同性間の性的接触 ^{*1}	1,343	2	1,345	99	2	101	1,442	4	1,446
	静注薬物濫用	14	3	17	20	1	21	34	4	38
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 ^{*2}	99	18	117	22	11	33	121	29	150
	不明	689	63	752	294	131	425	983	194	1,177
凝固因子製剤による感染者 ^{*4}		1,420	18	1,438	-	-	-	1,420	18	1,438

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

*4 「血液凝固異常症全国調査」による2007年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成20年9月30日)	268 名
エイズ予防法 ^{*5} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596 名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*6}	624 名

*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*6 「血液凝固異常症全国調査」による2007年5月31日現在の報告数